

2006.初夏

# 本音 本気 本腰!

『知行合一』  
とにかくやってみる  
動かなければ始まらないから  
これからも考えます 動きます  
『百試千改』で



## 歌を忘れたカナリヤと日本の将来

全世界を魅了させた荒川静香のイナバウアーのトリノオリンピック開会式でイタリアの国歌を女子小学生が一人で歌った。

日本ではどうであろうか? 果たして今の子供たちで国歌をすんなり歌える子が何人いるであろうか? もちろんイタリアの子も猛特訓したであろうが・・・。

折りしも、卒業式の集中する時期であるが、我々が小中学生の頃の卒業式では、必ず「あおげば尊し」、「蛍の光」の2点セットで歌わされたものである。しかし、最近では生徒(?)が作詞作曲した歌を私(僕)たちの歌として、あるいは、今流行のそれにふさわしそうな話題の新曲を合唱するそうな。時代が変わったといえればそれまでだが、あの美しく、感動的な昔からある歌をなぜ歌わさないのか、そのところがさっぱり理解できない、今の教育方針を大きく疑いたくなる思いにかられている今日この頃である。

国の将来を左右する教育の現場では、「日本の伝統」「大和民族としての誇りと自信」そのものが、どんどん失われていく教育をしているのではないかと勘ぐりたくなるように思えてならない。

先日、テレビ番組に出演した中曽根元総理も今の教育問題で「亡国教育をなくせ」そして「惻隱の情」が無くなり、営々として築かれてきた「伝統」そのものがくずれている現状を嘆かれていた。私も全くその通りだと思う。

学校教育だけが教育と勘違いをしている今の若い親たち、——国の政策が悪い、日教組が悪い、先生の指導が悪い——等々全部他人の所為にして家庭では何一つ子供にしつけが出来ない親たちの多いこと多いこと。箸の持ち方一つ指導もできずワシ掴みで箸を握っていても何一つ注意するでもなし、親の方を見たらこれまたビックリ、親自身もワシ掴みで起用に使っていた、あーこの親にしてこの子ありか・・・多分こんな親ほど子供には英語、ピアノ、〇〇と塾通いさせて満足しているのであろう。英語を習わすくらいなら先ず、国語をしっかりと習わせると言いたい。我々の子供の頃は学校の図書館へ行って、伝記物、歴史小説、文学小説等々取り合いするほど皆、本を読んでいたような気がする。時代が変わったとはいえ、パソコン、携帯電話、電卓、カーナビ等が日常生活にどっかりと入り込み、本を読まない、電話番号を覚えられない、暗算がのろい、道を覚えられない、デジタルの進歩はあっても、人間の脳の退化は逆にどんどん進んでいるような気がする。読み、書き、そろばん、が失われた現代社会、3世代が一家として同居して、おじいちゃん、おばあちゃんから孫たちへ伝える「人間としての基本教育」、うそをつかない、約束を破らない、人を傷つけない、我慢をする、人の言うことを良く聞く、悪いと思ったらごめんなさいといいなさい等々、その場その場で教えてきた環境が段々少なくなってきている現実。

本当に皆で考えよう国の将来、2050年頃には日本の人口は7000万人台になるといわれている。外国人労働者の移入も止む終えない時代かも知れない、そんな時こそ「日本の良き伝統」を維持できる教育方針の見直しが最も必要とされるのではないだろうか。

平成18年3月31日

上田かつよしを育てる会会長 安井淳良

## 上田かつよしを育てる会

〒715-0019 井原市井原町680

TEL 62-1982

<http://www.ibara.ne.jp/~uecans5>

e-mail:uecans5@ibara.ne.jp

ご意見ご要望をお聞かせください

## 近況報告

- 18.2 ・ももたろう塾連合会の総会へ出席しました。  
・河川環境管理財団の環境教育プログラム「プロジェクトWET」のエducatorになりました。
- 18.3 ・「川に学ぶ体験活動協議会」の初級指導者になりました。
- 18.4 ・今年度も1年間松畑先生の連塾で学びます  
・岡山県地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受けました。(3期目・H20.3まで)  
・井原警察署交通警察協働員の委嘱を受けました。  
・優良ドライバー(15年)の表彰を受けました。